### 12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

#### 臨床研修病院の名称 東京大学医学部附属病院 病院施設番号030186

M																
	-	444	<b>5</b> -1	麻 醉	小	*			精	病院で定めた必修利 目の診療科			その他 診療科	を行う	合	
区分	科	救 急 部 門	<b>外</b> 科	酔科(部門)	児科	産婦人科	又 産 科	は 婦 人 科	··· 神 科				眼科	形成外科	を行う 皮膚科 1,632 1,235 130.0 (243) 7.0 16 (2)	計
年間入院患者実数	8,400	833	6,773	15	1,365	3,525			337				1,757	584	1,632	25,221
()内は救急件数又は分娩件数		(11,999)				(1113)										
年間新外来患者数	6,012	1,580	3,058	102	1,071	2,828			684				2,856	960	1,235	20,386
1日平均外来患者数	1,036.2	9.4	424.6	24.1	60.5	199.9			106.7				189.3	36.5	130.0	
()内は年間外来診療日数	(243)	(243)	(243)	(243)	(243)	(243)			(243)				(243)	(243)	(243)	
平均在院日数	14.1	7.3	13.1	10.5	17.3	7.5			31.9				4.9	10.3	7.0	
常勤医師数	134	14	100	29	42	21			15				19	10	16	400
(うち臨床研修指導医(指導医)数)	(59)	(6)	(54)	(10)	(6)	(12)			(4)				(4)	(2)	(2)	(159)

<sup>※「</sup>年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数:年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、11. の救急医療の実績の前年度の件数及び15. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

<sup>※「</sup>内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

<sup>※</sup> 基幹型臨床研修病院指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。(様式任意)

### 12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称 東京大学医学部附属病院 病院施設番号030186

例忧旭故崔 5 030100																
		その他の研修を行う診療科														
区分	放 射 線 科	リハビリ科	耳鼻咽喉科	整 形 外 科	小児外科	病理部	その他									合計
年間入院患者実数 ()内は救急件数又は分娩件数	64	0	721	1,321	212	0	0									2,318
年間新外来患者数	280	99	1,996	2,100	257	0	0									4,732
1日平均外来患者数 ()内は年間外来診療日数	66.4 (243)	21.1 (243)	101.9 (243)	144.1 (243)	10.9 (243)	0.0 (243)	0.0 (243)									
平均在院日数	5.0	0.0	12.6	15.7	8.6	0.0	0.0									
常勤医師数	19	4	17	21	7	6	3									77
(うち臨床研修指導医(指導医)数)	(18)	(3)	(10)	(11)	(1)	(1)	(2)									(46)

<sup>※「</sup>年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数:年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、11. の救急医療の実績の前年度の件数及び15. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

<sup>※「</sup>内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

<sup>※</sup> 基幹型臨床研修病院指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。(様式任意)

# 12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(人和5年本八)				臨床研修病院の名称:東京大学医学部附属病院										
(令和5年度分) 							病院施	設番号:	030186					
	担当分野	1~	5~	9~	13~	17~	21~	25~	29~	33~	37~	41~	45~	49~
		4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
東京大学医学部附属病院	内科	41	41	41	41	41	41	41	41	40	41	40	41	調整期間
	救急・麻酔	26	27	26	27	26	27	26	27	26	27	26	27	調整期間
	外科	10	11	10	11	10	10	10	10	10	10	10	10	調整期間
	小児科	10	9	10	9	10	10	10	10	10	9	10	9	調整期間
	産婦人科	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	調整期間
	精神科	10	9	10	9	10	9	10	9	10	9	10	9	調整期間
	一般外来	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	調整期間
慶応義塾大学病院	内科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	調整期間
	外科				1	2	1	1	1	1	1	1	1	調整期間
	救急	1	1	1										調整期間
	麻酔科									1				調整期間
	小児科				1									調整期間
	産婦人科					1								調整期間
	精神科						1							調整期間
三重大学医学部附属病院	選択(形成外科)											1		調整期間
NTT東日本関東病院	選択(小児科)						1							調整期間

<sup>※</sup> 当該年度、当該年度の次年度分、次々年度分を別様で作成すること。 ※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける目 病院の担当分野をすべて記入し(自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること)、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れ る研修医の延人数(研修期間4週について1人とすること)を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合に は、その担当分野ごとの合計を記入すること。

<sup>※「</sup>担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。 ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

<sup>※</sup> 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

# 12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(人和6年本八)				臨床研修病院の名称:東京大学医学部附属病院										
(令和6年度分) 	病院施設番号:030186													
	担当分野	1~	5~	9~	13~	17~	21~	25~	29~	33~	37~	41~	45~	49~
<u> </u>		4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
東京大学医学部附属病院	内科	32	31	32	31	32	31	32	31	32	31	32	31	調整期間
	救急・麻酔	19	20	19	20	19	20	19	19	19	19	19	20	調整期間
	外科	11	10	10	10	10	10	10	10	11	10	10	10	調整期間
	小児科	10	9	10	10	10	9	10	10	10	9	10	10	調整期間
	産婦人科	10	9	10	9	10	9	10	9	10	9	10	10	調整期間
	精神科	9	9	9	9	9	9	8	9	8	9	8	9	調整期間
	一般外来	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	調整期間
慶応義塾大学病院	内科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	調整期間
	外科				1	2	1	1	1	1	1	1	1	調整期間
	救急	1	1	1										調整期間
	麻酔科									1				調整期間
	小児科				1									調整期間
	産婦人科					1								調整期間
	精神科						1							調整期間
三重大学医学部附属病院	選択(形成外科)											1		調整期間
NTT東日本関東病院	選択(小児科)						1							調整期間

<sup>※</sup> 当該年度、当該年度の次年度分、次々年度分を別様で作成すること。 ※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける目 病院の担当分野をすべて記入し(自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること)、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れ る研修医の延人数(研修期間4週について1人とすること)を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合に は、その担当分野ごとの合計を記入すること。

<sup>※「</sup>担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。 ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

<sup>※</sup> 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。